

# OSSTech Mailman 3 - Mailman 2.1 からの移行ガイド



**OSSTech**

OSSTech 株式会社

更新日

2026-01-21

## 目次

---

1. はじめに	1
1.1 本書の目的	1
1.2 凡例	1
2. 移行元 Mailman 2.1 環境の調査	1
2.1 移行元のパッケージ名とパス名	1
2.2 設定ファイル群の調査	1
2.2.1 OS	2
2.2.2 Mailman	2
2.2.3 Postfix	2
2.2.4 Apache httpd	2
2.3 コマンドの実行結果の調査	2
2.3.1 Mailman パッケージのバージョン	3
2.3.2 Mailman パッケージのファイル改変の有無	3
2.3.3 メーリングリスト数	3
2.3.4 代表的なメーリングリストの設定の内容	3
2.3.5 独自メッセージハンドラーファイルの存在	3
2.3.6 メーリングリストごとのテンプレートのカスタマイズの有無	4
2.3.7 メーリングリストへの投稿数	4
2.3.8 アーカイブの容量	5
3. Mailman 2.1 のメーリングリスト初期設定値の移行	5
3.1 mailman_defaults_style_plugin プラグインの有効化	5
3.2 mailman_defaults_style_plugin スタイルの設定	6
3.3 Mailman 2.1 の DEFAULT_* 値の移行	6
4. Mailman 2.1 メーリングリストの移行	7
4.1 移行先メーリングリストの作成	7
4.2 移行元メーリングリストのデータファイルの取得	7
4.3 メーリングリストの設定と会員情報の移行	8
4.3.1 単一のメーリングリストデータの移行	8
4.3.2 複数のメーリングリストデータの一括移行	8
4.4 mailman import21 コマンドによるメーリングリスト設定移行の仕様	9
4.4.1 メーリングリスト移行の基本仕様	9

4.4.2 Mailman 2.1 と 3 で構成・仕様の異なるリスト設定項目の移行仕様	9
4.4.3 移行先 Mailman 3 で機能しないリスト設定項目	9
4.4.4 メーリングリストのテンプレート設定の移行仕様	10
4.4.5 移行対象外のメーリングリスト設定項目	11
5. Mailman 2.1 メーリングリストの保存書庫の移行	12
5.1 メールボックス保存書庫の移行	12
5.2 Web 保存書庫の移行	12
6. Mailman 2.1 と Mailman 3 の仕様の違い	13
6.1 移行に考慮が必要な設定、データ、動作仕様	13
6.2 Mailman 2.1 の制限会員の移行仕様	14
6.2.1 mailman import21 による制限会員移行の仕様	14
6.2.2 mailman_defaults_style_plugin による制限会員移行の仕様	15
7. 更新履歴	15

# 1. はじめに

## 1.1 本書の目的

---

本ドキュメントは、OSSTech 社製品の Mailman 3 パッケージで構成されたシステムに Mailman 2.1 のメーリングリストを移行するためのガイドです。

## 1.2 凡例

---

インストールガイドの「[凡例](#)」を参照してください。

## 2. 移行元 Mailman 2.1 環境の調査

適宜、移行元的环境を調査して、移行の条件や可否、データ量などを見積ります。

本書では、具体的な調査内容は掲載しません。弊社[コンサルティングサービス](#)をご利用のお客様にご案内・ご提供いたします。

### 2.1 移行元のパッケージ名とパス名

本章では、移行元が OS 標準の mailman パッケージの場合の例を示します。移行元が OSSTech Mailman 2.1 の場合は、適宜、下記のように読み替える必要があります。

- パッケージ名:
  - `mailman` → `osstech-mailman`
- パス名:
  - `/etc/mailman/...` → `/opt/osstech/etc/mailman/...`
  - `/usr/lib/mailman/...` → `/opt/osstech/lib/mailman/...`
  - `/var/lib/mailman/...` → `/opt/osstech/var/lib/mailman/...`

### 2.2 設定ファイル群の調査

各種設定ファイルの内容を調査します。

#### 2.2.1 OS

- `/etc/os-release`
- `/etc/nsswitch.conf`
- `/etc/resolv.conf`
- `/etc/hosts`

## 2.2.2 Mailman

- `/etc/mailman/mm_cfg.py`
- `/etc/mailman/sitelist.cfg`
- `/etc/mailman/aliases`
- `/etc/mailman/virtual-mailman` (存在しない可能性あり)
- `/etc/mailman/templates` (ディレクトリ)

## 2.2.3 Postfix

- `/etc/postfix/main.cf`
- `/etc/postfix/master.cf`
- `/etc/aliases`
- そのほか `main.cf`, `master.cf` から参照しているテーブルデータ類:
  - ファイル群 (`/etc/postfix/` 下の `transport` (5) など)
  - LDAP DIT (`ldap_table` (5))
  - データベース (`pgsql_table` (5), `mysql_table` (5))

## 2.2.4 Apache httpd

- `/etc/httpd/conf/*.conf`
- `/etc/httpd/conf.d/*.conf`
- `/etc/httpd/conf.modules.d/*.conf`

## 2.3 コマンドの実行結果の調査

---

各種コマンドの実行結果 (画面出力) またはコマンド実行によって生成されるファイルの内容を調査します。

### 2.3.1 Mailman パッケージのバージョン

```
# rpm -qa mailman
...
```

### 2.3.2 Mailman パッケージのファイル改変の有無

通常は変更を想定していないモジュールファイルやメッセージカタログファイルなどが改造されている可能性があります。

```
# rpm -V mailman |grep -E -v '/var/|\.pyc$'  
...
```

### 2.3.3 メーリングリスト数

```
# /usr/lib/mailman/bin/list_lists --bare |wc -l  
...
```

### 2.3.4 代表的なメーリングリストの設定の内容

広報用、組織内部情報共有用、公開議論用など、メーリングリストの用途ごとの設定を確認するための参考情報とします。生成される `<リスト名>.txt` ファイルの内容を確認します。

```
# /usr/lib/mailman/bin/config_list -o <リスト名>.txt <リスト名>  
...
```

### 2.3.5 独自メッセージハンドラーファイルの存在

```
# LANG=C rpm -qf /usr/lib/mailman/Mailman/Handlers/*.py |grep ' '  
...
```

## 2.3.6 メールングリストごとのテンプレートのカスタマイズの有無

```
# find \  
  /var/lib/mailman/lists \  
  -maxdepth 2 \  
  -mindepth 2 \  
  -name '*.html' \  
  -o \  
  -name '*.txt' \  
;  
...
```

## 2.3.7 メールングリストへの投稿数

```
# ls -l /var/log/maillog* /var/log/old/maillog*  
...  
# nice ionice -c idle find /var/log \  
  -type f \  
  '(' \  
    -name "maillog" \  
    -o \  
    -name "mail.log" \  
    -o \  
    -name "maillog*" \  
    -o \  
    -name "mail.log*" \  
  ')' \  
  '(' \  
    -name "*.zst" \  
    -exec zstdgrep -Ho '/mailman post ' {} + \  
    -o \  
    ! -name "*.zst" \  
    -exec zgrep -Ho '/mailman post ' {} + \  
  ')' \  
|uniq -c \  
;  
...
```

### 2.3.8 アーカイブの容量

```
# nice ionice -c3 find \  
  /var/lib/mailman/archives/private \  
  -maxdepth 1 \  
  -mindepth 1 \  
  -exec du --total -sh {} + \  
;  
...
```

## 3. Mailman 2.1 のメーリングリスト初期設定値の移行

Mailman 2.1 は、メーリングリストを新規作成した直後の初期設定値を `mm_cfg.py` ファイル内の `DEFAULT_*` パラメーターで設定できます。しかし、Mailman 3 には同等の機能がありません。Mailman 3 では、リスト作成時に選択する「スタイル」に応じた初期設定が適用されます。

Mailman 3 標準のスタイルは、スタイルごとに初期設定パラメーター値が固定されており、設定ファイルなどによる変更はできません。あらかじめ用意されたスタイルとは異なるリスト初期設定を適用したい場合は、別途、Mailman 3 のスタイルプラグインの開発が必要です。

一方、OSSTech Mailman 3 には `mailman_defaults_style_plugin` という名前の独自プラグインが用意されています。これを用いることで下記を実現できます。

- 設定ファイルによるリスト初期設定値の設定
- Mailman 2.1 の `DEFAULT_*` 設定の移行支援

このプラグインを有効化すると、プラグイン名と同じ `mailman_defaults_style_plugin` という名前のスタイルが追加されます。

### 3.1 `mailman_defaults_style_plugin` プラグインの有効化

このプラグインを使用するには、Mailman 3 のメイン設定ファイル `/opt/osstech/etc/mailman/mailman.cfg` に下記のような内容の `[plugin.mailman_defaults_style_plugin]` セクションを記述して有効化します。

```
[plugin.mailman_defaults_style_plugin]
class: mailman_defaults_style_plugin.Plugin
enabled: yes
```

このプラグインによるスタイルをメーリングリスト作成時のデフォルトにするには、同ファイルの `[style]` セクションの `default` 値にスタイル名 `mailman_defaults_style_plugin` を記

述します。(任意)

```
[styles]
default: mailman_defaults_style_plugin
```

設定ファイルの変更を反映するには `osstech-mailman` サービスの再起動が必要です。

## 3.2 mailman\_defaults\_style\_plugin スタイルの設定

---

このプラグインの設定は `/opt/osstech/etc/mailman/defaults_style.py` ファイルに記述します。

設定ファイルの変更を反映するには `osstech-mailman` サービスの再起動が必要です。

## 3.3 Mailman 2.1 の DEFAULT\_\* 値の移行

---

プラグインを有効化すると `mailman import21defaults` コマンドが使用できるようになります。このコマンドを利用して Mailman 2.1 設定ファイルの `DEFAULT_*` パラメーター群を `mailman_defaults_style_plugin` スタイルの設定ファイルに移行できます。

Mailman 2.1 の設定ファイルは下記のパスに存在します。

- RHEL 標準 Mailman 2.1:
  - `/etc/mailman/mm_cfg.py`
- OSSTech Mailman 2.1:
  - `/opt/osstech/etc/mailman/mm_cfg.py`

`mailman import21defaults` コマンドのコマンドラインに Mailman 2.1 の設定ファイル `mm_cfg.py` ファイルへのパスを指定して実行すると、`defaults_style.py` ファイルに使用できる内容を出力します。

```
# /opt/osstech/bin/mailman import21defaults mm_cfg.py
...
```

サポートされていない `DEFAULT_*` 設定が含まれている場合、`Unsupported variable: DEFAULT_<パラメーター名>=<値>` がエラー出力されます。

生成される設定内容を使用するには、下記のようなコマンドラインを実行して設定ファイルに配備します。

```
# /opt/osstech/bin/mailman import21defaults mm_cfg.py \  
|install \  
  --suffix=.$(date --iso-8601=sec)~ \  
  --mode=0644 \  
  /dev/stdin \  
  /opt/osstech/etc/mailman/defaults_style.py \  
;
```

配備した設定ファイルを反映するには `osstech-mailman` サービスの再起動が必要です。

## 4. Mailman 2.1 メーリングリストの移行

### 4.1 移行先メーリングリストの作成

移行先の Mailman 3 のメーリングリストはあらかじめ作成しておく必要があります。

下記は `mailman create` コマンドで作成する例です:

```
# /opt/osstech/bin/mailman create \  
    new-listname@ml.example.com \  
;
```

### 4.2 移行元メーリングリストのデータファイルの取得

移行元の Mailman 2.1 環境から移行対象のメーリングリストの データファイル `config.pck` を取得し、Mailman 3 環境へコピーします。

Mailman 2.1 のリストデータファイルは下記のパスに存在します。

- RHEL 標準 Mailman 2.1:
  - `/var/lib/mailman/lists/<リスト名>/config.pck`
- OSSTech Mailman 2.1:
  - `/opt/osstech/var/lib/mailman/lists/<リスト名>/config.pck`

このファイルは機密情報を含むため、取り扱いとファイルの所有権/アクセス権にご注意ください。(各種メールアドレス、管理者パスワードハッシュ (ソルトなし SHA-1)、メンバー平文パスワード)

## 4.3 メーリングリストの設定と会員情報の移行

---

### 4.3.1 単一のメーリングリストデータの移行

`mailman import21` コマンドを用いて Mailman 2.1 のメーリングリストデータファイル `config.pck` に含まれるリスト設定とリスト会員を Mailman 3 に移行できます。

```
# cat config.pck \  
| /opt/osstech/bin/mailman import21 \  
  new-listname@ml.example.com \  
  - \  
;
```

OSSTech 製品ではない Mailman 2.1 で日本語設定を使用していたメーリングリストから移行する場合は `mailman import21` コマンドに `--charset=EUC-JP` オプションを追加して実行する必要があります。

```
# cat config.pck \  
| /opt/osstech/bin/mailman import21 \  
  --charset=EUC-JP \  
  new-listname@ml.example.com \  
  - \  
;
```

上記のコマンドライン例では、`mailman import21` コマンドライン引数に `-` を指定することで `config.pck` ファイルのデータを標準入力から受け取っています。`-` の代わりに `config.pck` ファイルへのパス名を指定することも可能です。ただし、`mailman` コマンドは `mailman` ユーザー権限で動作するため、`config.pck` ファイルの読み出し権限がなくオープンに失敗する場合があります。

### 4.3.2 複数のメーリングリストデータの一括移行

複数のメーリングリストを移行する場合、その数だけ `mailman import21` コマンドを個別に実行すると、非常に時間がかかってしまいます。

移行前後のメーリングリスト名 (@ の前の部分) が同一である前提ならば、下記の要領で一度の `mailman import21` コマンド実行による一括移行が可能です。

```
# find \  
  -type f \  
  -path "[a-z0-9]*/config.pck" \  
  -exec cat {} + \  
| /opt/osstech/bin/mailman import21 \  
  '{list_name}@ml.example.com' \  
  - \  
>
```

## 4.4 `mailman import21` コマンドによるメーリングリスト設定移行の仕様

---

### 4.4.1 メーリングリスト移行の基本仕様

`mailman import21` コマンドで移行の対象となるリスト情報は下記の通りです。

- メーリングリストの設定情報
  - 一部は対象外。(次節以降を参照)
- メーリングリストの会員情報
  - 会員は追加だけされます。削除はされません。つまり、移行先 Mailman 3 リストに存在しない移行元 Mailman 2.1 リスト会員は追加されますが、移行先 Mailman 3 リストに存在するが移行元 Mailman 2.1 リストに存在しない会員は削除されません。
  - 会員のパスワードは移行されません。
  - Mailman Web ユーザーは作成されません。

「[Mailman 2.1 と Mailman 3 の仕様の違い](#)」の章も参照してください。

### 4.4.2 Mailman 2.1 と 3 で構成・仕様の異なるリスト設定項目の移行仕様

下記の Mailman 2.1 リスト設定は Mailman 3 に存在しませんが、Mailman 3 の別のリスト設定・機能に組込まれる形で移行されます。

- `from_is_list` (`From:` ヘッダーのメールアドレスをリスト投稿アドレスに置き換え)
  - `dmarc_moderation_action` (DMARC 拒否/隔離ポリシーを持つドメインからの投稿に対する動作) 設定と統合され、Mailman 3 の DMARC 対策の設定に移行される。

#### 4.4.3 移行先 Mailman 3 で機能しないリスト設定項目

下記の Mailman 2.1 リスト設定は Mailman 3 に同等機能が存在しません。Mailman 3 のリスト設定データベースに項目が存在するため、設定値だけ移行されます。(将来の Mailman 3 バージョンで設定値に応じた動作に対応する可能性があります)

- `forward_auto_discards` (非会員からの投稿メールの破棄時に管理者へ通知)
- `member_moderation_notice` (制限会員の投稿を拒否したときの通知メールに含める文)
- `nonmember_rejection_notice` (非会員の投稿を拒否したときの通知メールに含める文)
- `obscure_addresses` (Web アーカイブでのメールアドレス表示の曖昧化)

下記の Mailman 2.1 リスト設定は OSSTech Mailman 3 で同等機能が無効化されています。設定値は移行されますが、無視されます。(osstech-mailman-3.3.11~a20251117-15 以降)

- `bounce_matching_headers` (指定した正規表現にマッチするヘッダの投稿は保留)

Mailman 3 で `bounce_matching_headers` 設定は旧式扱いになり、設定内容を表示・変更する方法が用意されていません。OSSTech Mailman 3.3.11~a20251117-15 以降、この設定の動作に相当するものが必要な場合は Mailman 3 のヘッダーフィルター機能への移行作業が必要です。

下記のコマンドラインの要領で Mailman 2.1 メーリングリストデータファイル `config.pck` 内の `bounce_matching_headers` 設定内容を確認できます:

```
# /opt/osstech/bin/mailman conf21 --keys bounce_matching_headers config.pck
...
```

下記のコマンドラインの要領で Mailman 3 メーリングリストの `bounce_matching_headers` 設定内容を確認できます:

```
# /opt/osstech/bin/mailman shell --run=examples.lists_conf -- \  
  --keys bounce_matching_headers \  
;  
...
```

osstech-mailman-3.3.11~a20251117-16 以前の場合:

```
# /opt/osstech/share/doc/osstech-mailman/shell/mailman-shell-run \  
  lists_conf \  
  --keys bounce_matching_headers \  
;  
...
```

#### 4.4.4 メーリングリストのテンプレート設定の移行仕様

下記の Mailman 2.1 リスト設定は Mailman 3 のテンプレートファイルに移行されます。メーリングリストごとに `/opt/osstech/etc/mailman/templates/lists/<リスト ID>/<リストデフォルト言語>` ディレクトリ下に保存されます。

- `goodbye_msg` (リスト退会者に送信する文章)
  - `list:user:notice:goodbye.txt`
- `msg_header` (普通配送会員へのメールに付けるヘッダー)
  - `list:member:regular:header.txt`
- `msg_footer` (普通配送会員へのメールに付けるフッター)
  - `list:member:regular:footer.txt`
- `digest_header` (まとめ読みメールに付けるヘッダー)
  - `list:member:digest:header.txt`
- `digest_footer` (まとめ読みメールに付けるフッター)
  - `list:member:digest:footer.txt`

移行先のテンプレートファイルは、Mailman Web 上のメーリングリスト画面では表示・変更・削除できません。独立して保持されます。

#### 4.4.5 移行対象外のメーリングリスト設定項目

下記の Mailman 2.1 リスト設定は Mailman 3 に移行されません。OSSTech Mailman 3 はこれら設定をサポートしておらず機能が無効化されているため、メーリングリストの動作に影響しません。

- `digest_is_default` (新規登録する会員の配信形式をまとめ読みに設定)
- `digest_size_threshold` (まとめ読みサイズのしきい値)
- `topics` (話題フィルター)
- `topics_bodylines` (話題フィルターによるメール本文の走査行数)
- `topics` (話題キーワード)
- `nntp_host` (NetNews ゲートウェイ)

下記の Mailman 2.1 リスト設定は Mailman 3 に同等機能が存在しないため、移行の対象外です。

- `available_languages` (選択可能な使用言語のリスト)
- `encode_ascii_prefixes` (件名プレフィックスが ASCII 文字のみの場合でも符号化)  
(Mailman 2.1 でも未使用の設定値)
- `host_name` (メールドメイン名)
- `equivalent_domains` (会員メールアドレスのドメイン名と同一と見做すドメイン名)
- `subscribe_auto_approval` (入会に承認が不要なメールアドレスのリスト)
- `new_member_options` (新規登録する会員に付与する会員オプション値)
- `member_verbosity_threshold` (会員の投稿数の上限)
- `member_verbosity_interval` (会員の投稿数の観測期間)
- `dmARC_none_moderation_action` (投稿メールドメインの DMARC ポリシーが「なし」のときの動作)
- `dmARC_quarantine_moderation_action` (投稿メールドメインの DMARC ポリシーが「隔離」のときの動作)
- `include_sender_header` (`Sender:` ヘッダーのメールアドレスをリスト投稿アドレスに置き換え)
- `umbrella_list` (親子リスト)
- `umbrella_member_suffix` (親リストのサフィックス)
- `regular_include_lists` (姉妹リスト)
- `regular_exclude_lists` (姉妹リスト)
- `regular_exclude_ignore` (姉妹リスト)
- `scrub_nondigest` (普通配送メールの添付ファイルを保管)
- `digestable` (リスト会員がまとめ読み配信を選択可能)
- `nondigestable` (リスト会員が普通配信を選択可能)

- `mime_is_default_digest` (まとめ読み配信のメール形式)
- `send_reminders` (毎月のパスワード備忘通知メールの送付)
- `url_host` (Web 画面 URL のサーバー名)
- `url_pattern` (Web 画面 URL のフォーマット文字列)
- `admin_member_chunksize` (Web 管理画面の会員リストのページサイズ)
- `archive_volume_frequency` (保存書庫のまとめ単位)

## 5. Mailman 2.1 メーリングリストの保存書庫の移行

### 5.1 メールボックス保存書庫の移行

Mailman 2.1 のメールボックス保存書庫 (mbox 形式) を移行するには、Mailman 3 のメールボックス保存書庫 (maildir 形式) に変換する必要があります。

現在のところ変換する手段は用意されてません。

別途、[弊社コンサルティングサービス](#) のご利用をご検討ください。

### 5.2 Web 保存書庫の移行

Mailman 3 の Web 保存書庫に移行するには Mailman 2.1 のメールボックス保存書庫 (mbox 形式)、または相当するデータ (生のメールデータ) が必要です。Mailman 2.1 の Web 保存書庫 (HTML ファイル群) を Mailman 3 に移行することはできません。

Mailman 2.1 のメールボックス保存書庫は下記のパスに存在します。

- RHEL 標準 Mailman 2.1:
  - `/var/lib/mailman/archives/private/<リスト名>.mbox/<リスト名>.mbox`
- OSSTech Mailman 2.1:
  - `/opt/osstech/var/lib/mailman/archives/private/<リスト名>.mbox/<リスト名>.mbox`

`mailman-web hyperkitty_import` コマンドを用いて Mailman 2.1 のメールボックス保存書庫 (mbox 形式) を Mailman 3 (HyperKitty) の Web 保存書庫にインポートできます。

```
# /opt/osstech/bin/mailman-web hyperkitty_import \  
  --listname= listmanager@ml.example.jp \  
  listname.mbox \  
;
```

## 6. Mailman 2.1 と Mailman 3 の仕様の違い

### 6.1 移行に考慮が必要な設定、データ、動作仕様

下記の Mailman 2.1 の設定、データ、動作仕様を Mailman 3 に移行する手段は用意されてません。

- グローバル設定ファイル `mm_cfg.py` のパラメーター。
  - 設定ファイルのフォーマットや設定項目が異なります。
  - `DEFAULT_*` パラメーター群を移行するには「[Mailman 2.1 のメーリングリスト初期設定の移行](#)」の章を参照してください。ただし、一部対応していない `DEFAULT_*` パラメーターがあります。
  - そのほかのパラメーターや設定をどのように移行するか、あるいは移行不要か等は、個別に検討していただく必要があります。
- 各種の管理用のパスワード。
  - サイト管理パスワード、リスト管理/司会/投稿パスワードは移行できません。
  - Mailman 2.1 の各種管理機能はパスワードのみで認証しますが、Mailman 3 ではユーザー名とパスワードによる認証しか対応してません。
- 会員に関する一部の情報。
  - 会員のパスワードは移行できません。
  - 制限会員に相当するメンバーオプションは存在しません。「[Mailman 2.1 の制限会員の移行形態](#)」の節を参照してください。
  - 会員の表示名をメーリングリストごとに設定することはできません。(サイト全体で1つだけ設定可能)
  - 受信する話題の設定は移行されません。
- メール / HTML テンプレートファイル。
  - メールテンプレートファイルの種類と形式が異なるため、個別に対応する必要があります。
  - Mailman 3 は HTML テンプレートに対応していないため、Mailman 2.1 の HTML テンプレートファイルは移行できません。
- コマンドラインのインターフェイス。
  - コマンド名やコマンド仕様 (オプション、引数、動作、出力) が異なります。
  - Mailman 3 向けにスクリプトや運用マニュアルなどを改修する必要があります。
- メールコマンドのインターフェイス。

- Mailman 3 に下記のメールコマンドは存在しません:
  - `info` : メーリングリスト情報の取得コマンド。
  - `lists` : メーリングリスト一覧の取得コマンド。
  - `password` : メンバーパスワードの取得・変更コマンド。
  - `set` : メンバーオプションの取得・設定コマンド。
- Mailman 3 のメールコマンドはパスワードを受け付けません。
  - 審査待ち (保留中) 投稿メールの承認時に実行する `confirm` コマンドに指定できるモデレーターパスワードだけが例外です。それ以外のパスワードは指定できません。
- OSSTech Mailman 3 はデフォルトでコマンドメールを受け付けません。
- 独自のメッセージハンドラー。
  - 内部実装や API が異なるため互換性がありません。
  - Mailman 3 向けにメッセージハンドラーを移植 (プラグイン開発) する必要があります。
- 配信を保留された投稿メール。
  - 審査待ち (保留中) の投稿メールは移行されません。
- 入会申請と退会申請。
  - 審査待ち (保留中) の入退会申請は移行されません。
- まとめ読み配信向けの未配信の投稿メール。
  - まとめ読み用に配信待ちされている投稿メールデータは移行されません。
  - OSSTech Mailman 3 はまとめ読みはサポート対象外です。

## 6.2 Mailman 2.1 の制限会員の移行仕様

---

Mailman 3 には、Mailman 2.1 のメンバーオプション「制限」設定 (制限会員) に相当する機能がありません。この節では Mailman 2.1 制限会員の移行仕様を解説します。

### 6.2.1 `mailman import21` による制限会員移行の仕様

Mailman 2.1 の下記メーリングリスト設定は、Mailman 3 に存在しません。

- 「新しく登録する会員のデフォルトを制限付き会員にする」  
(`default_member_moderation`)
- 「制限付き会員から投稿があったときの動作」(`member_moderation_action`)

同様に、Mailman 2.1 のメンバー (会員) に付与可能なオプションの一つである「制限」フラグは、Mailman 3 のメンバーには相当する オプションが存在しません。

Mailman 3 の `mailman import21` は、Mailman 2.1 の「新しく登録する会員のデフォルトを制限付き会員にする」を下記のように移行処理します。

- Mailman 2.1 の「新しく登録する会員のデフォルトを制限付き会員にする」が「いいえ」設定の場合:
  - Mailman 3 の「メンバーがリストに投稿したときのデフォルト処理」設定が「デフォルト処理」設定になる。
- Mailman 2.1 の「新しく登録する会員のデフォルトを制限付き会員にする」が「はい」設定の場合:
  - Mailman 2.1 の「制限付き会員から投稿があったときの動作」設定が Mailman 3 の「メンバーがリストに投稿したときのデフォルト処理」設定に移行される。

メーリングリストのメンバー (会員) ごとに付与されている制限オプションの 設定値は下記のように移行処理します。

- Mailman 2.1 の制限オプションが付いていないメンバー (非制限会員):
  - Mailman 3 のメンバーオプションの「審査設定」が「リストのデフォルト」設定になる。
- Mailman 2.1 の制限オプションが付いているメンバー (制限会員):
  - Mailman 2.1 の「制限付き会員から投稿があったときの動作」設定が Mailman 3 のメンバーオプションの「審査設定」に移行される。

## 6.2.2 `mailman_defaults_style_plugin` による制限会員移行の仕様

Mailman 2.1 の `mm_cfg.py` の `DEFAULT_DEFAULT_MEMBER_MODERATION` は、Mailman 3 の `mailman_defaults_style_plugin` の `defaults_style.py` の `DEFAULT_MEMBER_ACTION` に移行されます。

ただし、Mailman 2.1 の `mm_cfg.py` には `DEFAULT_MEMBER_MODERATION_ACTION` という設定は存在しません (メーリングリスト作成時の「制限付き会員から投稿があったときの動作」 (`member_moderation_action`) 設定の初期値は設定できない。常に「保留」設定になる)。このため、Mailman 2.1 の `DEFAULT_DEFAULT_MEMBER_MODERATION` が `Yes` (`True`, `On`, `1` も等価) のとき、Mailman 3 の `DEFAULT_MEMBER_ACTION` 値は `Action.hold` (保留) に移行されます。

## 7. 更新履歴

- 2026-01-21
  - 「メーリングリスト移行の基本仕様」節に会員リストからの削除は行なわれない仕様を記載。
- 2025-11-21
  - リスト設定 `bounce_matching_headers` が動作しない仕様に関して追記。(osstech-mailman-3.3.11~a20251117-15 以降)
- 2025-09-30
  - 「移行対象の Mailman 2.1 メーリングリスト情報」節の表題を「`mailman import21` コマンドによるメーリングリスト設定移行の仕様」に変更して内容を整理。
  - 「移行に考慮が必要な設定、データ、動作仕様」の節から「`max_days_to_hold` (保留した申請の保存期間)」を削除。(Mailman 3.3.11 以降で対応)
- 2025-03-24
  - 「移行に考慮が必要な設定、データ、動作仕様」の節にメールコマンドに関する記述を追加。
- 2025-03-18
  - 「移行元 Mailman 2.1 環境の調査」の章を追加。
- 2024-10-31
  - `mailman_defaults_style_plugin` の設定ファイル名を `defaults_style.py` に変更。(osstech-mailman-3.3.9-9 以前は `defaults.py`)
- 2024-10-21
  - 初版。(インストールガイド から分離)
  - 「Mailman 2.1 のメーリングリスト初期設定の移行」の章を追加。